

### 味よし！色よし！香りよし！

いわた茶は、渋みと旨みが調和した味わい深さがあり、さわやかですっきりとした香りと、澄んだ水色（すいしょく）が特徴のお茶です。市内には製茶工場が33軒あり、茶生産者約160人の方が440haの面積で生産しています。個人経営の生産者が多く、普通煎茶から深蒸煎茶までこだわりをもって幅広く製造されているため、バラエティに富んだお茶が楽しめます。

静岡県は国内の茶園面積の約40%を占める全国トップクラスのお茶どころです。磐田原大地に広がる茶園は、地形が平坦で温暖な気候に恵まれているため、静岡県内でも極早場所の産地であり、4月の中旬から新茶の摘み採りが始まります。

これから旬を迎える「いわた茶」を、ぜひ取材していただければと思います。



## 平安時代から続く「長藤」

### 鮮やかな紫色のカーテン

「春に咲く花」と言えば「桜」を連想する方が多いと思いますが、磐田市には桜に負けない美しい花が咲きます。それが池田の「長藤」です。

行興寺の境内には「熊野の長藤」と呼ばれる国の天然記念物に指定されている推定樹齢850年の藤が1本、県の天然記念物に指定されている5本のほか、17本の藤が植えられており、総面積400坪の藤棚は荘厳です。

見頃を迎える4月下旬には幼稚園児も遠足で訪れます。これから美しい花を咲かせる長藤を、ぜひ取材していただければと思います。

※幼稚園児の訪問日程については、別添の取材メモ提出予定表をご覧ください



←長藤の開花状況についてはこちら  
(池田地区運営協議会 HP)